

# 小さな RNA が未来を切り拓く⑤



極めて悪性な腫瘍の一つと認識されているグリオブラストーマ。その悪性度の高さ、予後が不良であることから、世界中で研究されており、効果的な治療方法の確立が急務であると言われていました。

▶▶発癌性 miRNA と言われる miR-10b は、グリオブラストーマにおいて高度な発現が見られるとの報告があります。また miR-10b を阻害することで、神経膠腫細胞の増殖および生存が強く損なわれると言います。

今回ご紹介する文献では、これまで明らかにされていなかったグリオブラストーマにおける miR-10b が維持されるメカニズムについて、その阻害を評価しています。またそれと同時に、グリオブラストーマに対する miR-10b 阻害の治療効果の評価も行っており、本文献で提唱されている方法は、すべてのサブタイプに対して潜在的に有効であると報告しています。その際に miR-10b アンチセンスオリゴヌクレオチド阻害剤 (ASO) として、ホスホロチオエート骨格を有する 2'-O-methoxyethyl オリゴヌクレオチドを使用しています。

Tepliyuk, Nadiya M., et al. "Therapeutic potential of targeting microRNA-10b in established intracranial glioblastoma: first steps toward the clinic." EMBO molecular medicine 8.3 (2016): 268-287.

## そのオリゴ合成、承ります！

文献のアプリケーション応用には、日本遺伝子研究所のオリゴヌクレオチドをお勧めします！

オリゴヌクレオチドにヌクレアーゼ耐性を持たせるためのホスホロチオエート化(S 化)、一般的な骨格であるホスホジエステル、およびこれらの混合骨格(S キメラ)を有し、2'-O-methoxyethyl を挿入したオリゴヌクレオチドを合成します。

日本遺伝子研究所では、アンチセンスオリゴや miRNA の合成を承ります。

2'-OMe や 2'-F-RNA、2'-O-Moe の挿入も承りますので、お気軽にご相談ください。

アンチセンスオリゴ

⇒[詳細はこちら](#)

1本鎖 RNA、DNA/RNA キメラオリゴ、2'-OMe や 2'-F-RNA

⇒[詳細はこちら](#)

二本鎖 siRNA

⇒[詳細はこちら](#)